

フラメンコそれは生への希求

いつの世も一生懸命に打ち込めるものに巡り合い、
それを求める魂と肉体が存在する事に気づくことが肝要。
その磨きかた その方法を編み、高めて積み重ねて行く
エネルギーこそが生きる力を生み、生命の輝きを放つ根元となる。

SHOJI KOJIMA FLAMENCO 2014

第16回徳島県民文化祭主催公演

小島章司フラメンコ舞踊団2014

平成26年11月9日(日) 開場13:30 開演14:00

あわぎんホール(徳島県郷土文化会館)

- 入場料/[全席指定]一般・大学生2,000円 高校生以下500円(当日各500円増)
- チケット取り扱い/小山助学館駅前本店・紀伊國屋書店そごう徳島店・ローソンチケット(Lコード64773)
あわぎんホール・県庁とくしま文化振興課
- お問い合わせ先/徳島県民文化祭開催委員会(徳島県とくしま文化振興課内) 088-621-2249
- 主催/徳島県・徳島県民文化祭開催委員会



平成26年度 文化庁
地域発・文化芸術創造発信イニシアチブ

写真:山廣康夫



CHICUELO

チクエロ ギタリスト・音楽監督
1968年バルセロナ生まれ。

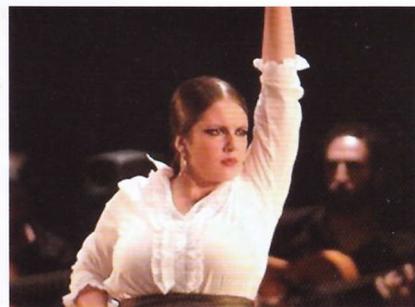
現代スペイン、フラメンコ界を代表するギタリスト、作曲家の一人。19歳でバルセロナのタブラオでプロデビュー。ジェルバエナ、ベレン・マジャなど当代一流のアーティストたちと共演。またエンリケ・モレンテ、ミゲル・ポベダ、ドゥケンデ、マイテ・マルティンら名だたるフラメンコ歌手たちの伴奏を務める。現在もミゲル・ポベダ、ドゥケンデの伴奏を中心にソロでも活躍。ソロ・アルバムに『コンプリセス』『ディアパシオン』がある。プロデューサー・音楽監督として数多くのCD、舞台作品に参加。映画『ブランカニエス』の主題歌でスペインのアカデミー賞であるゴヤ賞を受賞。93年から小島章司フラメンコ舞踊団公演の音楽監督を務めている。その繊細かつダイナミックな音楽で観客を魅了する。



CRISTIAN LOZANO

クリスティアン・ロサーノ 男性舞踊手
1979年バルセロナ生まれ。

7歳の時から舞踊を学び16歳でプロデビュー。1998年バルセロナの演劇学院スペイン舞踊課程を修了。学士資格を優秀な成績で取得。同年マドリッドに移り、2000年9月スペイン国立バレエ団に入団。7年間に在籍し、『グリト(叫び)』(アントニオ・カナーレス振付)、『アランフェス協奏曲』(ピラール・ロベス振付)等でソリストを務め、『メデア』(ホセ・グラネーロ振付)のイアソン役、『フエンテオベーナ』(アントニオ・ガデア振付)のフロンドーソ役、『エル・ロコ』(ハビエル・ラトール振付)のタイトルロールなど主役を務める。2007年、アイダ・ゴメス舞踊団にプリンシパルとして入団。またコンテンポラリー・ダンスのラモン・オリエール率いる舞踊団、メトロスのニューヨーク公演に参加、高い評価を受けた。現在はアイダ・ゴメス舞踊団、エバ・ジェルバエナ舞踊団で主に活動している。



ANA LATORRE

アナ・ラトール 女性舞踊手
1994年コルドバ生まれ。

父はスペイン国家舞踊賞受賞の舞踊家ハビエル・ラトール。母はコルドバ高等舞踊学院教授のヌリア・レイバ。3歳で踊り始め、バレエやコンテンポラリー、スペイン舞踊をアントニオ・ルイス・ナニ・バーニョスらに、フラメンコをハビエル・ラトール、ラファエル・エステベス、アントニオ・カナーレス、エバ・ジェルバエナら、多くの一流の舞踊家たちに学ぶ。2012年コルドバ高等舞踊学院卒業。インスタブレ・デ・ダンス、ホベン・コンパニア・ノ・ソロ・ダンス、アントニオ・マルケス舞踊団、エステベス&バーニョス舞踊団等で活躍。2013年にはグラナダ、アルハンブラでの一ヶ月半の公演『ドゥケンデ』に出演したほか、11月には小島章司プロデュースの『ファトゥム!』にダンサー兼リハーサル監督として参加。2014年8月にはカンテ・デ・ラス・ミーナス舞踊団公演に出演。若手の注目株である。



DAVID LAGOS

ダビ・ラゴス 歌い手

1973年ヘレス・デ・ラ・フロンテラ生まれ。大伯父、叔父が歌い手、兄がギタリストというフラメンコ一家に育ち、子どもの頃から歌い始める。10歳で初舞台。叔父に導かれプロとなり、95年にはドミンゴ・オルテガのグループで新宿『エル・フラメンコ』出演のため初来日。後、ドミンゴをはじめ、ベレン・マジャ、アドリアン、ルイシー・ジョ、クリスティアーナ・オヨスらの伴唱で活躍。オヨス舞踊団での活躍で注目され、ソロでも活躍。ホアキン・グリロ、イスラエル・ガルバン、パストラー・ガルバン、アンドレス・マリン、マヌエラ・カラスコ…一流の舞踊家たちと数多く共演している実力派。2009年に初のソロ・アルバム『エル・エスベ・エン・ケ・メ・ミロ』を発表、同アルバムでフラメンコ・オイのカンテ新人賞を受賞。2014年2枚目のアルバム『ミ・レトケ・カンテ・ヘササーノ』を発表した。



EL LONDRO

エル・ロンドロ 歌い手

1976年ヘレス・デ・ラ・フロンテラ生まれ。子供のころから歌い始め、ヘラルド・ヌーニェスに見出され、1994年『恋は魔術師』ビエナル公演に参加、後、スペイン各地を巡演。カルメン・コレテス、ホアキン・グリロ、アントニオ・カナーレス、アンドレス・マリン、イサベル・バジョン、パストラー・ガルバン、メルセデス・ルイスなど、数々の一流フラメンコ舞踊家たちと共演。また、チクエロ、ホセ・ルイス・モンテン、サンティアゴ・ララ、フアン・ディエゴ、アントニオ・レイラギタリストのアルバム録音やスペインで最も人気のあるフラメンコ歌手たち、ホセ・メルセ、ミゲル・ポベダらの公演などにも参加。2010年にはそのミゲル・ポベダのプロデュースで、アルバム『ルナ・デ・エネロ』をリリースした。長年、小島章司公演に出演し、その深い知識と実力を発揮している。



FLAVIO RODRIGUES

フラビオ・ロドリゲス ギタリスト

1979年サンパウロ生まれ。5歳でギターを始め、ブラジルのポピュラー音楽やジャズを学ぶ。1994年よりフラメンコギターをフェルナンド・デルアに師事。1998年初めてスペインに渡り、マノロ・サンルーカル、ヘラルド・ヌーニェス、ラファエル・リケニに師事。2000年、マドリッドに移り住み、以後、ラファエル・アマルゴ、アントニオ・カナーレス、アドリアン・ガリアら、偉大な舞踊家たちの伴奏を務める。とくにラファエル・アマルゴ舞踊団では2003年から2008年までギタリスト、音楽監督、作曲家として活躍。作品『エンランブラオ』ではマックス賞オリジナル音楽部門にノミネートされた。2010年ソロアルバム『エニウエイ』をリリース。2011年フェスティマッドで最優秀ライブ賞など3賞を受賞するなど、ソロでも伴奏でも活躍中。

SHOJI KOJIMA 小島章司

徳島県出身。武蔵野音楽大学声楽科卒。1966年スペインに留学。翌年西ソ文化交流使節スペイン国立舞踊団の一員としてソ連公演に出演。以後、10年間スペイン内外の劇場やタブラオで公演活動。1976年帰国し全国公演を行う。1986年『噴霧の炎』で芸術祭賞、第18回舞踊批評家協会賞受賞。代表作に『カディスの女』、『ガルシア・ロルカへのオマージュ』、『鳥の歌』、『戦下の詩人たち』、『ラ・セレスティアーナ〜三人のバプロ〜』など。『ルナ。フラメンコの魂を求めて』で芸術選奨文部大臣賞など受賞多数。主なものに徳島県文化賞、芸術選奨文部大臣賞(1999年)、スペイン国王よりのイサベル女王勲章オフィシャル十字形章(2000年)、紫綬褒章(2003年)スペイン国王よりの文民功労勲章エンコミエンダ章、文化功労者(2009年)などがある。2011年第15回ヘレス・フェスティバルで『ラ・セレスティアーナ〜三人のバプロ〜』を上演。世界を代表するスペイン舞踊とフラメンコのフェスティバルに招聘され、メイン会場フラメンコの殿堂ビジャマルタ劇場に出演し、観客・批評家ともに絶賛される。11月東日本大震災復興支援チャリティー・ガラ公演『レイクエム』。12月第15回フェスティバル・デ・ヘレス招聘作品凱旋公演『ラ・セレスティアーナ〜三人のバプロ〜』上演。2012年5月スペイン、バルセロナにて開催されたフェスティバル、第19回シウダ・フラメンコに招聘され出演。9月28日スペイン、セビージャで行われたビエナル・フラメンコ祭に『ラ・セレスティアーナ〜三人のバプロ〜』が招聘される。2013年11月コルドバのグラン・テアトロにて小島ラトール・フラメンコ舞踊団として『ファトゥム!』を初演。ベルディのオペラ『運命の力』にインスパイアされたこの作品は日本スペイン交流400周年及びヴェルディ生誕200周年を記念するもので、専門家の非常に高い評価を得た。

写真：山廣康夫(アナ・ラトールを除く)

小島章司フラメンコ塾(徳島)

[ソレア組]

大田美和 小林しのぶ 堯天陽子 笹川直美
四宮千春 豊浦 夏 橋本美奈子 濱美智代
中石桂子 西尾利恵子

[ロメーラ組]

青山 睦 熊田知子 柴村洋子 笹本美子
巽 尚子 野崎千恵 檜 直子 向 京子
吉本真弓 夢田順子(構成)

ロス・チャバリージョス・デ・牟岐(牟岐小学校)

久保天音 久保有里那 家段柚香 田中菜々美
和田悠希 居村咲希 住登希成 前原和奏
石橋茉那 池田幸奈 東田美心 大谷百香
栗林花音

Estudio Lucia

ギター:Yoichi カンテ:Akari